



# 平成25年度予算案 一般会計 647億8,913万円

## 新年度の施政方針(概要)

### ~「都市再生」と「コミュニティ創生」を更に進め 持続可能な未来に向けて高めよう「三鷹市の価値」を~

平成25年度の三鷹市の予算案が、2月27日から始まった市議会定例会で審議されています。  
新年度の予算案は、「都市再生」と「コミュニティ創生」を更に進め、持続可能な未来に向けて「三鷹市の価値」を高める取り組みとして編成しました。市政を取り囲む厳しい社会経済状況にあって難しい判断を迫られている時こそ、斬新な発想やアイデアを生み出す好機と捉え、三鷹市の「都市経営の総合力」を活かした市政運営を進めたいと考えています。

平成25年度予算案の概要について2・3面で紹介しています



三鷹市長

清原慶子

私たちは、個人や地域社会と国、国際社会が多層的に関連し、情報、経済、環境、文化など様々な事柄について、空間的にはボーダレスに、時間的にはリアルタイムで共有することができる時代に生きています。このような中であって平成24年度は奇しくも、日本を取り巻く国々のトップが新たに選ばれた年度となりました。各国のリーダーは、自らの国の舵取りに心を砕きつつも、自国と世界との関係を視野に入れて、国際的な諸課題の解決を図る必要に迫られています。

日本では、昨年末に政権交代があり、東京都知事も交代しました。低迷する日本経済にわずかに明るい兆しが見え始めたと言われてはいますが、三鷹市のような基礎自治体を取り巻く状況は、依然として厳しいものがあります。本年度の予算の議論を重ねる中で、私は、市政を取り囲む厳しい社会経済状況にあって難しい判断を迫られている時こそ、斬新な発想やアイデアを生み出す好機と捉えるべきであると考えました。

三鷹市では、『第4次三鷹市基本計画』の最重点プロジェクトとして、

「都市再生」と「コミュニティ創生」を、また緊急プロジェクトとして「危機管理」を掲げました。平成25年度は、「都市再生」事業の進展をいっそう実感できる年になります。平成25年3月にリニューアルオープンする三鷹市公会堂の「光のホール」と「さんさん館」が本格的な利用に供され、現在は試験焼却中のごみ処理施設「三調めのエントツくん」こと「クリーンプラザふじみ」も4月から本格稼働します。三鷹中央学園三鷹市立第三小学校の新校舎に新1年生を迎え、「新川防災公園・多機能複合施設(仮称)」の整備によいよ着手します。いずれも、時間をかけ、多くの関係者の想いを受け止めつつ、一つひとつ丁寧に進めてきた事業です。

これらの各事業の質を高め、より効果的に進めていくためには、三鷹市の「都市経営の総合力」と、それを支える「市民協働力」「政策創造力」「自己点検力」「課題発信力」の4つの力が重要です。平成25年度予算の事業実施にあたっては、三鷹市の「都市経営の総合力」を結集して対応することが必要であり、それこそが、未来に向かって「まちの価値を高める」ことに繋がっていくと考えています。

#### 1 民学産公で共に進める「市民協働力」

『第4次三鷹市基本計画』の最重点プロジェクトに掲げた「コミュニティ創生」の取り組みは、民学産公の協働によって、都市の空洞化を食い止めるための活動です。「地域ケアネットワーク」の展開や「災害時要援護者支援事業」、「見守りネットワーク」の構築、また都市のにぎわい創出としての「買物環境整備事業」などの試みは、失われかけた都市の「共助」の機能を、民学産公の協働の力で構築し直すための、たゆまぬ努力の現れと言えます。三鷹市に根づいた協働の積み重ねが、改めて、未来のまちづくりに生かされる時機を迎えているのです。



地域ケアネットワーク東部での活動風景

#### 2 新しい政策を企画開発する「政策創造力」

「市民協働力」に呼応する職員に必要な資質として、自治体には特に2つの力が必要だと考えます。その一つが「政策創造力」です。NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構と協働で設置している「三鷹まちづくり総合研究所」の活用により、市の政策課題の研究などを深め進化させるとともに、経費をかけずに市民満足度を高める「ゼロ・アップ創造予算」を募り、できるかぎり「コストを

かけず」に、むしろ「心を込める」事業実施を推進します。例えば「危機管理プロジェクト」の一環として、災害時の「公助」の取り組みに加え、「自助」と「共助」を促す啓発・支援を進めるなど、細かな配慮と創意工夫による事業展開を図ります。

#### 3 自ら事業を見直し改善する「自己点検力」

職員に不可欠なもう一つの力は、自ら事業を見直し改善していく「自己点検力」です。三鷹市では『三鷹市行財政改革アクションプラン 2022』に基づく行財政改革や、予算編成と連動した「事務事業総点検運動」及び「公共施設総点検運動」に取り組んでおり、平成24年度には市営住宅跡地の売却にあたり「エコタウン新川一丁目」として環境に配慮した優良な住宅の誘致に取り組みました。平成25年度予算では、「市民保養所箱根みたか荘」の廃止に向けたあり方の検討や基金の見直しを行うほか、新たな行政評価の手法の検討・試行に取り組みます。



新川防災公園・多機能複合施設(仮称)整備後のイメージ

#### 4 国や東京都を動かす「課題発信力」

三鷹市のような基礎自治体では、税財源の移譲を伴わない分権や広域行政の後退ともとれる権限移譲などが、日々の市政運営に与える影響は小さくありません。そこで必要となってくるのが、国や東京都に向けた的確

な「課題発信力」です。東京都の「新たな多摩のビジョン」には「都市型産業誘致」の項目が三鷹市からの発信で盛り込まれました。また、三鷹市のような地方交付税不交付団体が置かれている相対的に不利な状況などの改善に関して、総務大臣へ要望するなどの独自の活動も行っています。今後も、国や東京都に対して明確に主張する自立的な自治体として、発信力を大いに高めていきたいと思えます。

#### 5 未来に向けて高めよう「三鷹市の価値」を

世界経済の地殻変動は地域経済の構造変化と密接に繋がりが、市民生活に大きな影響が及ぶ状況にあります。長引く不況から、市民や市内事業者を取り巻く環境の厳しさは依然として継続しており、企業のグローバル化と個人の孤立が、一つの自治体の中の課題として同時に語られる現状を認識しなければなりません。そして、それらの課題がまちの中で、相互に密接に関連して起こる状況の中での市政運営は、様々な予期せぬ出来事が起こり得る「荒海の航海」のようだと考えるかもしれません。

この、未来に向けた「荒海の航海」の舵取りを、市民の皆様から信託されている三鷹市長として、私は平成25年度も、三鷹市の「都市経営の総合力」を信じ、「都市再生」と「コミュニティ創生」を更に進め、持続可能な未来に向けて、「三鷹市の価値」を高めるための活動を着実に進めていく決意です。

施政方針全文は市ホームページでご覧いただけます

# 平成25年度の予算案をお知らせします

平成25年度予算案における一般会計と特別会計の予算総額は、1,015億109万6千円で、前年度予算と比較すると、9億3,445万1千円(0.9%)の減となります。

一般会計の予算額は、647億8,912万5千円で、前年度予算と比較すると、21億3,293万円(3.2%)の減となっています。これは、新川防災公園・多機能複合施設(仮称)の用地取得費の減、クリーンプラザふじみおよび三鷹市公会堂の整備終了など、都市再生に係る経費が減となったほか、24年12月に焼却炉の運転を停止した環境センターの運営費が減となったことなどによるものです。

特別会計の予算額の合計は、367億1,197万1千円で、前年度予算と比較すると、11億9,847万9千円(3.4%)の増となっています。これは、介護保険事業特別会計の7億5,271万5千円(7.2%)の増をはじめ、全ての特別会計が増となったことによるものです。

今号では、こうした平成25年度予算案の概要と主な事業の内容をお知らせします。

## 各会計別の予算額

(単位:千円)

会計		平成25年度 予算額	平成24年度 予算額	増 △減	
一般会計		64,789,125	66,922,055	△2,132,930	△3.2%
特別 会計	国民健康保険事業特別会計	17,271,219	16,973,445	297,774	1.8%
	下水道事業特別会計	3,707,444	3,654,791	52,653	1.4%
	介護サービス事業特別会計	1,083,756	1,076,087	7,669	0.7%
	介護保険事業特別会計	11,162,802	10,410,087	752,715	7.2%
	後期高齢者医療特別会計	3,486,750	3,399,082	87,668	2.6%
合計	36,711,971	35,513,492	1,198,479	3.4%	
総計	101,501,096	102,435,547	△934,451	△0.9%	
純計	93,999,683	95,123,259	△1,123,576	△1.2%	

※「純計」とは、会計間の重複(繰入金・繰入金)を控除した額です。  
※△はマイナス。

## 一般会計と市税の当初予算額の推移

(単位:百万円)

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比
歳入・歳出 総額	61,158	5.7%	64,466	5.4%	64,987	0.8%	66,922	3.0%	64,789	△32%
うち市税	35,462	1.0%	33,488	△5.6%	33,748	0.8%	33,685	△0.2%	33,812	0.4%

※△はマイナス。

「平成25年度施政方針・予算概要」(1冊200円)、「平成25年度三鷹市一般会計・特別会計予算及び同説明書」(1冊900円)は、相談・情報センター(市役所2階)☎内線2215で販売しています。また、「施政方針・予算概要」は、市ホームページでもご覧いただけます。

## 一般会計 647億8,913万円 (1人当たり359,940円)

※1 %は、一般会計予算に占める割合を示しています。  
※2 1人当たりの金額は、平成25年度の人口見込み180,000人で割り返した金額です。

### 歳出予算

#### 議会費

市議会の運営に



5億4,222万円 0.8%  
(1人当たり3,012円)

#### 総務費

市役所の運営、コミュニティ、文化、安全安心対策などに



96億6,877万円 14.9%  
(1人当たり53,715円)

#### 民生費

社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などに



303億1,053万円 46.8%  
(1人当たり168,392円)

#### 衛生費

健康増進、ごみ処理、公害対策などに



39億4,400万円 6.1%  
(1人当たり21,911円)

#### 土木費

道路、公園整備、緑化対策などに



55億9,334万円 8.6%  
(1人当たり31,074円)

#### 消防費

消防や防災対策などに



22億5,033万円 3.5%  
(1人当たり12,502円)

#### 教育費

小中学校教育、社会教育、スポーツ振興などに



72億8,675万円 11.2%  
(1人当たり40,482円)

#### 公債費

市債(借入金)の返済に



43億8,595万円 6.8%  
(1人当たり24,367円)

#### その他

消費者・勤労者対策、農業・商工業振興などに

8億 724万円 1.3%  
(1人当たり4,485円)

### 歳入予算

#### 市税

みなさんからお預かりする税金



338億1,243万円 52.2%  
(1人当たり187,847円)

#### 各種交付金

使い方が定められていない国・都からの交付金など



26億9,706万円 4.1%  
(1人当たり14,984円)

#### 使用料・手数料、分担金・負担金

保育料やごみ処理手数料など、みなさんに負担していただく収入



16億3,859万円 2.5%  
(1人当たり9,104円)

#### 国庫支出金

使い方が定められている国からの負担金・補助金



92億9,779万円 14.4%  
(1人当たり51,654円)

#### 都支出金

使い方が定められている東京都からの負担金・補助金



69億5,657万円 10.7%  
(1人当たり38,648円)

#### 繰入金

基金(貯金)の取り崩しなど



34億7,133万円 5.4%  
(1人当たり19,285円)

#### 市債

建設事業などのための借入金



43億2,450万円 6.7%  
(1人当たり24,025円)

#### その他

前年度決算の繰越金や財産売却収入など

25億9,086万円 4.0%  
(1人当たり14,393円)



# 平成25年度の主な事業

※ここでは、第4次三鷹市基本計画に基づき分類・整理を行っています。

## 都市再生プロジェクト

- 新川防災公園・多機能複合施設(仮称)整備の推進 25億5,658万8千円
- 井の頭・玉川上水周辺地区複合施設(仮称)の整備 1,280万7千円
- 三鷹中央学園第三小学校の建替え 6億572万円
- 災害に強い下水道の整備の推進 4億4,738万円

## 危機管理プロジェクト

- 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の促進 9,084万7千円
- 地域防災計画に基づく災害対策用備蓄物資等の整備 2,386万3千円
- 下連雀六丁目防災広場(仮称)の整備(写真) 1,502万9千円



地域の防災機能向上を図るため、下連雀六丁目防災広場(仮称)を整備します。また、地域の防災力強化に向けて、市民の連携による「共助」の取り組みを支援するとともに、防災意識の啓発を図るなど「自助」の備えを促進します。

## 健康長寿社会プロジェクト

- 高齢者・障がい者等実態調査の実施 500万円
- 高齢者肺炎球菌ワクチン接種の実施 367万7千円
- 特定健康診査・特定保健指導の推進 1億8,586万2千円

## サステナブル都市プロジェクト

- 「サステナブル都市三鷹」の実現に向けた研究の推進 5万円
- エコタウン開発奨励事業の実施 1,208万円
- クリーンプラザふじみの本格稼働と安定的な運営(写真左) 4億4,828万7千円
- 学校校庭等の芝生化の推進(写真右) 420万円



調布市と共同で整備してきた新ごみ処理施設(クリーンプラザふじみ)が平成25年度から本格稼働することから、事業主体であるふじみ衛生組合と連携し、円滑な運営を行います。



ヒートアイランド現象の緩和など環境負荷の低減および児童・生徒への環境教育を推進するため、東京都の補助金(対象基本額の全額)を活用して校庭などの芝生化整備を行います。

## 地域活性化プロジェクト

- 買物環境の整備の促進 879万7千円
- 景観条例に基づく景観づくりの推進 201万1千円
- 東京外かく環状道路に関する調査・検討 468万2千円
- 南部図書館(仮称)の整備の推進 4億6,599万1千円
- スポーツ祭東京2013(東京国体)の推進(写真) 1億9,065万1千円



平成24年度に実施したリハーサル大会の結果検証を踏まえ、国体正式種目3競技(サッカー、ソフトボール、アーチェリー)、デモンストレーションとしてのスポーツ行事1種目(バドミントン)、障がい者スポーツ1競技(アーチェリー)を開催します。

## コミュニティ創生プロジェクト

- コミュニティ創生の推進 78万1千円
- 地域ケアネットワークの推進(写真) 1,288万2千円
- 災害時要援護者支援事業の推進 173万5千円
- 見守りネットワーク事業の推進 58万9千円



コミュニティ住区を基盤に、住民協議会をはじめとする地域の市民、関係団体などが連携してネットワークを形成し、地域での課題解決に向けて協働して取り組む「地域ケアネットワーク」の拡充を図ります。平成25年度は、市内6カ所目となる駅前地区での地域ケアネットワーク設立に向けて、取り組みを進めます。

## 子ども・子育て支援プロジェクト

- 在宅子育て支援の推進 2,415万5千円
- 年齢別定数の見直しによる保育定数の拡充 361万7千円
- 私立認可保育所の開設支援 3,500万円
- 学童保育所の整備 4億8,723万3千円
- コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展(写真) 7,738万4千円



コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育について、平成24年度に策定した「三鷹市立学校小・中一貫教育の推進に係る実施方針」に基づき、一層の内容の充実を図るとともに、持続可能な教育活動や学園運営などの支援を行います。

## セーフティーネットプロジェクト

- 障がい者ヘルプカードの作成 249万2千円
- 北野ハピネスセンターにおける医療的ケアの実施 8万円
- 緊急雇用創出事業の実施 2,203万2千円

## 都市交通安全プロジェクト

- 市道第135号線(三鷹台駅前通り)整備の促進(写真) 6,733万4千円
- 駐輪場整備基本方針の推進 5億2,650万6千円
- 都市計画道路整備の促進 8億5,608万1千円



三鷹台まちづくり協議会から平成16年9月に提出された「三鷹台駅前通りへの歩道設置に係る緊急提言」を受け、三鷹台駅前周辺地域のバリアフリーに配慮した歩行空間を整備するため、用地の取得を進めるとともに、電線類地中化の整備に着手します。

## その他の新規・拡充事業

- 市政情報のデジタル化の推進 106万3千円
- 粗大ごみ処理券(1,500円券)の発行 170万7千円